

土佐塾、花園へ闘志

「1勝を」合言葉に

27日に近鉄花園ラグビー場(東大阪市)

で開幕する第94回全国高校ラグビーフットボール大会(毎日新聞社、日本ラグビー協会など主催)に、3年

全国高校ラグビー

連続14回目の県代表として臨む土佐塾。間に迫った本番に向け、フィフティーンは「花園で1勝」を合言葉に闘志を燃やしている。

【岩間理紀】

「相手の早さに飲まれるな。こっちもスピードを生かして狙っていくぞー」

F B金崎廉大朗主将(3年)の指示に「よ



「花園で1勝を」と意気込む土佐塾フィフティーン。高知市北中山の土佐塾高で

- | | | | |
|-----------|------|------|-----------------------|
| 1 山下 聖夏③ | 180㌔ | 80㌔ | 最後の花園、チームに貢献し自分のプレーを |
| 2 高山 善史② | 173㌔ | 80㌔ | 家族への感謝の印として、花園で1勝を |
| 3 吉村 祐也② | 174㌔ | 78㌔ | 支えてくれた人たちに恩返しし観客を魅了する |
| 4 田中真太朗③ | 180㌔ | 85㌔ | 最後まで走りきり悔いを残さず最高のプレーを |
| 5 谷脇 優介③ | 170㌔ | 70㌔ | 確実なプレーで「縁の下の力持ち」に |
| 6 新階 彩幸① | 168㌔ | 76㌔ | まずは1回戦突破。土佐塾ラグビーを全国で |
| 7 松元 倫人③ | 163㌔ | 67㌔ | 声で盛り上げ最後まで走り、フォローを |
| 8 竹嶋 宏輔③ | 177㌔ | 75㌔ | 仲間のために体を張って、何でもタックル |
| 9 武田侑一郎③ | 170㌔ | 66㌔ | 強気の攻撃で土佐塾魂を全国に伝えたい |
| 10 松原 一樹③ | 166㌔ | 66㌔ | 力を全力で出し切り笑顔で試合を終える |
| 11 山上 麦③ | 166㌔ | 62㌔ | ボールを持ったらとにかく前に。1回戦突破を |
| 12 竹下 雅教② | 181㌔ | 87㌔ | 先輩たちとの最後の試合、少しでも長く花園に |
| 13 半山 大貴③ | 171㌔ | 70㌔ | 最後の花園、相手を恐れずタックルを |
| 14 高橋 海維② | 170㌔ | 70㌔ | 持ち味のランで勝負。一つでも多く試合を |
| ⑬ 金崎廉大朗③ | 180㌔ | 82㌔ | 感謝の思いを集大成の試合で表現する |
| 16 松田 光生③ | 167㌔ | 77㌔ | 全力でサポートし最大限の力を出し切る |
| 17 北本 天祐③ | 175㌔ | 65㌔ | 一つ一つのプレーに丹精を込め、確実に |
| 18 山中 幹大② | 170㌔ | 90㌔ | キャッチを生かし自分の力を全力で発揮 |
| 19 吉本 敦輝② | 168㌔ | 82㌔ | フォローを早く、絶対にボールを取られない |
| 20 松永 大我① | 171㌔ | 102㌔ | タックルは絶対外さない。突破力で勝負 |
| 21 岩本 祐輔① | 171㌔ | 92㌔ | どんな相手にも全力で、1歩でも前に進む |
| 22 谷脇 圭③ | 163㌔ | 59㌔ | 3回目の花園、悔いの残らない試合を |
| 23 片岡 倫① | 170㌔ | 57㌔ | キックの精度を生かし確実に決めたい |
| 24 竹嶋 大貴① | 172㌔ | 60㌔ | 1試合ずつ気合を入れ、来年へとつなぐ |
| 25 川崎 公暉① | 165㌔ | 60㌔ | 一緒に練習してきた仲間と花園で勝利 |
- ※名前の左の○印は主将、右は学年

しー」と大きな声がかかる。22、23両日に県立春野総合運動公園(高知市)であった本番前の最終合宿。1998年から遠ざかる花園勝利を目指し、選手は早朝から汗を流した。

平均体重は74・2㌔と出場チームとしては小柄。しかし、今年7月の全国7人制大会ではベスト8。高校日本代表候補の金崎主将、

C T B 半山大貴選手(3年)らバックス陣は後足とサイドに振り分けるパス技術を備え、磨きかけた展開ラグビーで切り込む。F W 陣はフィジカル強化に加え、ラインアウトやディフェンスを重点的に強化。F W リーダーのL O 田中真太朗選手(3年)は「F W 陣にもスピードがあるのが強み。接点を確実に抑え、体を張って

いく」と意気込む。初戦の相手は黒沢尻北(岩手)。チームカラーが同じで、拮抗した試合展開が予想されるが、西村保久監督(47)は「バックスを中心に全員でボールを動かし、活路を見いだしたい」と本番を見据える。

初戦は大会第2日の午後2時から第3グラウンドでキックオフ。